

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
研究支援戦略推進部職員公募

当機構では、下記によりURAを公募します。

記

公募番号 URA17-01～URA17-15

本機構は、平成25年度に、研究マネジメント人材群(URA、リサーチアドミニストレーター)の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援するため、文部科学省の「研究大学強化促進事業」の採択を受けました。我が国の加速器科学の拠点として、機構の研究力強化を図るため、平成26年3月に、統括責任者である機構長及び実施責任者である研究担当理事の下に、事業の中心的役割を担う「研究支援戦略推進部」を設置しました。

本推進部では、機構の研究戦略に基づき、計画実現に向けた具体的な研究支援及び機構の研究プロジェクトの遂行支援を、関係部局との協力の下に推進しています。推進部の主なミッションは、次の通りです。

- ・機構における研究のグローバル化と技術のイノベーションを強力に推進することを目指す。
- ・研究環境の改革、支援体制の充実を図るための支援をする。
- ・国際プロジェクトの推進、先端技術開発及び大学共同利用実験を支援する。
- ・機構が進める「多国籍参画ラボ」及び「多企業参画ラボ」実現のための支援をする。
- ・将来の加速器科学分野を担う若手研究者及び女性研究者の育成を目指す支援をする。

教育・研究職、事務職と並ぶ、新しい第三の職種となる研究マネジメント職(URA)を、下記により広く募集します。本機構とともに、新しい仕事に挑戦していく気概のある方からの応募をお待ちしています。

記

1. 公募職種及び人員

URA、ジュニアURA、アシスタントURA※各職種の役割は以下のとおり。

URA:

研究支援戦略推進部または同推進部に設置する各室における業務を主導的に推進する。

ジュニアURA:

研究支援戦略推進部または同推進部に設置する各室における高度に専門的な業務を担う。

アシスタントURA:

研究支援戦略推進部または同推進部に設置する各室における専門的な業務を担う。

2. 所属、募集人員、職務内容

研究支援戦略推進部 9名。予算等の状況により、採用人数を変更する可能性有。(職務内容の詳細は別紙1参照)

派遣型URA 6名。予算等の状況により、採用人数を変更する可能性有。(職務内容の詳細は別紙2参照)

※応募者は複数の公募に応募可能である(2件まで)。応募に際しては希望優先順位を明示する事。また、職種が限定されていない公募については、希望する職種を併せて記載すること。

3. 応募資格

以下のいずれかに該当する者。また、各職務内容に応じて必要となる経験等は、別紙1、別紙2を参照すること。

(1)博士の学位を有する、またはそれと同等の能力を有する者(ただし、アシスタントURAについては、修士の学位を有する又はそれと同等の能力を有する者)

(2)大学・研究機関等(企業を含む)で研究または研究支援にかかる業務の経験を有する者

4. 公募締切

平成30年1月17日(水)17:00必着

5. 着任時期

平成30年4月1日以降のできるだけ早い時期

6. 選考方法

書類選考の上、面接を行う。

7. 勤務条件等

(1)任期:平成33年3月31日までとする。(更新の可能性あり。ただし、契約更新された場合であっても、最長で平成35年3月31日までとする。また、任期内において70歳に到達する場合には、70歳に達した年度末を任期の終期とする。)

(2)給与:本機構URAの年俸制に関する規程(年俸額は、経歴等の経験年数を考慮して決定)による。

(3)諸手当:本機構URAの年俸制に関する規程(通勤手当、住居手当、超過勤務手当支給)による。

(4)健康保険:文部科学省共済組合

(5)年金:共済年金

(6)雇用保険:加入

(7)勤務時間:月～金曜日の週5日勤務 原則として、午前8時30分～午後5時15分

(8)休日:原則として、毎週土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(6日間)

(9)宿舎:機構職員宿舎の貸与可

8. 勤務地

つくばキャンパス(茨城県つくば市大徳1-1)

ただし、公募番号「URA17-13」、「URA17-14」については、東海キャンパス(茨城県那珂郡東海村大字白方203-1)とする。

9. 提出書類

(1)履歴書(市販様式。自筆、写真貼付、押印の上、高等学校卒業以上の学歴、職歴、資格、電子メールアドレス、応募する公募番号(2件に応募の場合はその希望順位)について明記すること。)

(2)職務経歴書(任意様式。履歴書記載の職歴について詳細に記入のこと。)

(3)着任後の抱負(A4で2枚程度)

(4)連絡先(応募者本人のこれまでの業務(研究を含む)に関して問い合わせることが可能な方(推薦者を含む))

10. 書類送付

〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 総務部人事労務課人事第一係

封筒の表に「公募番号」を朱書きし、郵送(書留)又は持参すること。

11. 問い合わせ先

(1) 職務内容等について

研究支援戦略推進部 小林富雄 TEL: 029-879-6230(ダイヤルイン) E-mail:tomio@post.kek.jp

(2) 提出書類 勤務条件等について

総務部人事労務課人事第一係 TEL: 029-864-5118 (ダイヤルイン) E-mail:jinj1@ml.post.kek.jp

12. その他

本機構は、男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において優劣をつけがたい最終候補者(男女)がいた場合、女性を優先して採用します。

[KEK 人事公募へ](#)

公募番号	職種	所属	職務内容	必要となる経験等	
URA17-1	URA、 ジュニアURA、 もしくは アシスタントURA	研究支援企画室	研究支援企画室は、IR(Institutional Research)推進チームを発足させ、IR機能の戦略的強化により機構のマネジメント支援に資する体制を整える。これらのため、主に次の業務を推進する。 (1)IRに関する機構ワイドでの活動推進・関連部門調整業務 (2)高度データ分析およびエビデンスに基づくIR戦略立案支援業務 (3)IT基盤DB(database)からIRデータ抽出・加工・整備及びIR-DBシステム構築の整備業務 (4)その他研究大学強化促進事業支援業務	IRによる機構マネジメント支援業務の経験者	
URA17-2			研究支援企画室は、平成28年度より研究支援戦略推進部内に寄附金推進チームを新設し、一般寄附金の獲得拡大にむけて実施体制の整備と募金活動を推進している。また、機構が開発した技術の産業移転を目指した外部資金獲得支援にも力を入れている。寄附金事業や産学連携事業は、機構の新組織へと拡大・発展させることを行ってゆく予定である。これらのため、主に次の業務を推進する。 (1)寄附金獲得のための企画・営業業務 (2)寄附金事業推進のための新組織の整備業務 (3)機構開発技術の産業移転のための外部資金獲得支援 (4)その他研究大学強化促進事業支援業務	寄附金支援業務・外部資金獲得業務の経験者	
URA17-3			研究支援企画室は、男女共同参画関係の事業を生活・研究・労働環境等の整備へと拡大・発展させることを戦略的に行っている。これらを統一的行う「ダイバーシティ推進事業」へと展開する人材を育成し、推進するため、主に次の業務を推進する。 (1)ダイバーシティ推進事業の企画・立案・調整 (2)生活・研究・労働環境等の整備のための新しい働き方の企画・立案・調整 (3)男女共同参画推進のための企画・立案・調整 (4)若手研究者育成のための企画・立案・調整 (5)その他研究大学強化促進事業支援業務	男女共同参画支援業務の経験者	
URA17-4			研究支援企画室は、各種支援事業を行っている。これらを推進するため、主に次の業務を推進する。 (1)研究支援事業の広報戦略の企画・立案、広報業務一般の調整 (2)各種支援事業のポスター等作成の企画・立案・調整 (3)各種支援事業のWeb page作成やメルマガ等配信の企画・立案・調整 (4)支援事業で運用するネットワーク、サーバーの立案及び管理支援業務 (5)その他研究大学強化促進事業支援業務	大学・研究機関・企業等で広報または研究支援の経験、Web page等を作成・管理する業務の経験	
URA17-5			多国籍参画ラボ推進チーム	多国籍参画ラボ推進チームは、大規模化・国際化する加速器科学プロジェクトを推進するため、海外の研究機関が機構において共同研究を実施する新たな枠組みとして、多国籍参画ラボ事業を発足させ、支援している。これらのため、多国籍参画ラボ推進チームにおいて、主に次の業務を推進する。 (1)多国籍参画ラボ事業の新規プロジェクトの開拓 (2)多国籍参画ラボ事業のプロジェクト参加研究機関・研究者間の調整 (3)多国籍参画ラボ事業のプロジェクトに係る運営会議・研究集会等の企画・立案 (4)多国籍参画ラボ事業のための外部資金獲得支援 (5)その他、多国籍参画ラボ事業に係る支援業務	英語によるコミュニケーション能力、加速器科学分野において国際共同研究プロジェクトの企画・運営を主導した経験
URA17-6			多企業参画ラボ推進チーム	多企業参画ラボ推進チームは、多企業参画ラボや中核となる共創コンソーシアム等の運営に当たり、機構と企業がウインウインの関係を構築できる新たな研究開発分野の開拓を目指す。また、機構のシーズを活用し且つ産業界と連携した外部資金獲得活動を促進する。これらのため、多企業参画ラボ推進チームにおいて、主に次の業務を推進する。 (1)多企業参画ラボ及びその中核となる共創コンソーシアム等の運営全体を主導し、シンポジウム開催、各種イベント出展等を実施し、多企業参画ラボ全体の「見える化」を図る。 (2)国内外の産学連携の取組調査や企業ニーズと機構シーズのマッチング活動を行い、高度な産学連携研究やコンソーシアムの創成を図る。 (3)機構開発技術の産業移転に関わる外部資金獲得を推進する。	大学・研究機関・企業での研究または研究支援の経験

公募番号	職種	所属	職務内容	必要となる経験等
URA17-7	URA、 ジュニアURA、 もしくは アシスタントURA	TIA推進室	<p>「TIA」は、本機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人物質・材料研究機構、国立大学法人筑波大学、国立大学法人東京大学の5研究機関と、一般社団法人日本経済団体連合会が運営し、世界的なオープンイノベーション拠点である。機構のTIA推進室は、他研究機関のTIA推進室等と協力して、TIA拠点活動を促進する。これらのため、本機構TIA推進室において、主に次の業務を推進する。</p> <p>(1) TIA5機関で構成するTIA事務局に参画し、TIA主要会議、TIAシンポジウム、各種イベントへの出展などの企画・運営・実施を主導し、TIA活動全体を円滑に推進させる。また、TIA情報共有システムを機構内に構築・運用し、TIA活動の機構内周知を図る。</p> <p>(2) TIA5研究機関の研究者を繋ぐ研究連携事業を企画・実施し、TIA連携研究の創出を主導する。</p> <p>(3) 国内外の企業等の外部研究機関とTIAを繋ぎ、新たな大型研究開発連携の枠組みを構築する。</p>	大学・研究機関・企業での研究または研究支援の経験
URA17-8		大学・産業連携推進室	<p>大学・産業連携推進室は、大学連携による加速器科学発展の促進(大学連携事業)、並びに、つくばの研究機関等との連携による幅広い分野の「知の創成」「イノベーション創成」「人材育成」の促進(近隣連携事業)を行う。これらのため、大学・産業連携推進室において、主に次の業務を推進する。</p> <p>(1) つくば近隣の広範な大学・研究機関・企業のURAや研究連携担当者として協力し、新しい近隣連携支援ネットワークで、機構の特徴を活かした連携研究・開発プログラムや人材育成プログラム等の創成を主導する。</p> <p>(2) 近隣連携支援ネットワークで創成した各種プログラムの活動の円滑な運営・促進を主導する。特に、機構が中心となって育成したTIA光・量子計測プラットフォーム事業の運営を担当する。</p> <p>(3) 大学・産業連携室が進める大学連携事業を分担し、近隣連携事業との連結を図る。</p>	大学・研究機関・企業での研究または研究支援の経験
URA17-9		知的財産室	<p>知的財産室は、研究成果の産業への応用や技術移転等による社会貢献を推進するため、その研究成果を知的財産として、適正に保護・管理するとともに、その活用展開を図ることを戦略的に行っている。これらのため、主に次の業務を推進する。</p> <p>(1) 研究成果の知的財産化及びその社会展開</p> <p>(2) 知的財産に関する研究者への啓発</p> <p>(3) 知的財産に関する次世代担当者の育成教育</p>	大学・研究機関等(企業を含む)で研究または研究支援にかかる業務の経験者

公募番号	職種	派遣先	職務内容	必要となる経験等
URA17-10	URA	加速器研究施設	研究支援戦略推進部に所属し、加速器研究施設において、主に次の専門的業務を担う。 (1)機構の研究を効率的、効果的に遂行するための短期、中期及び長期的な戦略を企画する。 (2)施設コーディネーターとして、つくばキャンパスにおける加速器施設の一般安全及び当該施設に関わる統括的技術補助及び安全管理業務に従事する。	
URA17-11	ジュニアURA	管理局 国際連携推進チーム (仮称) 又は 国際連携推進室	国際連携推進チーム(仮称)は、大規模化・国際化する加速器科学プロジェクトを推進するため、ボーダーレスの研究支援体制を構築することを支援している。これらのため、主に次の業務を推進する。なお、国際連携推進チーム(仮称)が設置されるまでは、国際連携推進室の所属となる。 (1)外国人研究者に対する研究・生活環境整備の企画・立案・実施 (2)多国籍参画ラボ事業に係る運営会議・ワークショップ等の実施 (3)機構が主催または共催する国際研究集会の運営企画、および開催マネジメント (4)機構が主催または共催する国際スクール等の人材育成事業の企画立案、および開催マネジメント (5)海外研究機関との定期会合、ワークショップ、二国間協力事業等に関する業務 (6)国際連携活動のための外部資金獲得に関する業務	英語によるコミュニケーション能力、国際研究集会・国際スクール等の国際共同事業の企画・運営経験、外国人研究者に対する研究支援・生活支援業務の経験者
URA17-12	ジュニアURA または アシスタントURA	ILC推進準備室	研究支援戦略推進部に所属し、ILC推進準備室において、主に次の専門的業務を担う。 (1)機構内及び国内外関係機関とのコーディネート業務(会議開催準備、関係資料作成等を含む。) (2)管理局研究協力部国際連携推進チームと協力し、機構の国際戦略策定に資する加速器科学の国際動向を調査・分析する。	英語によるコミュニケーション能力、国際共同研究プロジェクトの企画・運営を支援した経験
URA17-13	アシスタントURA	J-PARCセンター	研究支援戦略推進部に所属し、主にJ-PARCセンターの一般安全に関わる統括的技術補助及び安全管理業務に係る次の業務に従事する。 (1)J-PARCセンターにおける労働安全衛生に関する計画等の立案、教育、実施、現場対応及び書類作成・手続き (2)J-PARCセンターにおける危機管理に関する計画等の立案、教育、実施、現場対応及び書類作成・手続きに従事し、事故トラブル等の発生時における事故現場(指揮所)支援活動及び東海村での震度4以上の地震発生時における施設点検結果報告等の対応(いずれも勤務時間外に発生した場合の対応を含む)に、東海管理課安全担当職員と協力してあたる。 (3)東海管理課安全担当職員と協力しての労基署、消防署等への各種申請、報告等の対応	・研究機関、大学等における機械安全、電気安全、環境(化学)安全、高圧ガス安全、労働安全衛生管理のうちいずれかの安全管理業務の実務経験を3年以上有すること。 ・衛生工学衛生管理者または第一種衛生管理者の資格を有すること。 ・危機管理の実務経験を有することが望ましい。 ・機械安全、電気安全、環境(化学)安全、高圧ガス安全、等に関わる資格を複数有することが望ましい。
URA17-14	アシスタントURA	J-PARCセンター	研究支援戦略推進部に所属し、主にJ-PARCセンターの施設に関連した次の業務に従事する。 (1)機構が所掌する施設の新規整備、改修、維持管理に関わるコーディネート業務。 (2)J-PARCセンター運営支援セクション員を兼務し、JAEA工務部との連携において中核的役割を担う。	大型加速器施設における施設(電気/建築/機械)の整備や維持管理に10年以上の経験を有すること。
URA17-15	アシスタントURA	管理局 総務部 情報基盤管理課	研究支援戦略推進部に所属し、総務部情報基盤管理課において、主に次の業務に従事する。 (1)研究支援戦略推進部において機構のIRを推進し、研究支援戦略を立案するために必要な、情報収集及び分析ツールとなる各種データベースシステムのプロトタイプ開発及び外注時の開発支援 (2)上記開発システム稼働後の各種データ活用(VBA等でのプログラミング、Oracle等の各種データベースとのデータ連携を含む)、運用管理(シェルスクリプト等の作成を含む)セキュリティ管理(web application firewall、ログ監視システムの管理を含む) (3)上記開発システム稼働後の各種データ連携元システムに係る維持管理支援(実験課題申請/審査システム、共同利用者支援システム、評価情報データベース等) (4)研究支援戦略推進部にて開発し稼働中の、以下のシステム等の運用管理、セキュリティ管理。(知財管理システム、研究成果管理システム、ファイル共有システム、情報収集システム等)	以下の各項目は、全て必須の資格とする。 1. 第一種情報処理技術者(または相当する資格) 2. ORACLE MASTER Silver(またはその上位資格) 3. 登録者数1万人規模のWebサービスの運用維持管理業務経験(3年以上) 4. Webアプリケーションファイアウォール機器の運用維持管理業務経験(2年以上) 5. 以下のプログラミング言語によるシステム設計/開発/運用維持管理業務経験 ・C言語:5年以上 ・VB.NET:5年以上 6. 以下のデータベース運用・設計経験 ・Oracle DB:5年以上